

避難所運営 ゲームで体験

山田地区 防災委員ら 来春計画の訓練想定

カードゲームを通じて避難所運営
を体験する山田地区住民ら



総社

握してもらおうと、総

社市・山田地区コミュニ

ニティ協議会は7日、

防災委員らを対象に

避難所運営ゲームの体

験会を西公民館山田分

館（同市山田）で開い

た。

同協議会は来年3

月、住民向けに初の運

営訓練を計画してい

る。体験会には各小字

の防災委員をはじめ、

サポート役の県立大

生、そっじゃ防災士の

会メンバーら計約30人

が参加。ゲームは「認

災害避難 知症患者」「乳幼児連

所の運営イれ」といった避難者カ

メージを把握の情報を読み上

用した。

初めは戸惑っていた

委員も次第に慣れ、班

ごとに「乳幼児がいる

家庭だから、周囲に気

兼ねしなくて済む個室

がいいのでは」などと

相談して場所を決めた

り、避難所に次々届く

支援物資の置き場を考

えたりした。

防災部長の月本博樹

さん(57)は「各自課題

が見つかっただけ。本

番に向けていい準備が

できた」と講評した。

(小畑誠)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。